

	現計画番号	対象者	事業名	内 容	現 況	目 標	担当課
発達段階に応じた読書機会の提供	1	乳幼	ブックスタート事業の充実	保健サービスセンターで実施される4か月児健診時に、絵本の読み聞かせを行い、絵本や図書館の紹介が入ったブックスタートバックを手渡し、親子のふれあいを通した本との出会いのきっかけ作りとする。	令和5年度実績：対象者の94.4% (1,804人) ※検診参加者への配付率100%	4か月児検診参加者全員への配付を継続するとともに内容の充実を図る。	真砂中央図書館 保健サービスセンター
	2	乳幼	ブックスタートのフォローアップ事業の充実	ブックスタートから継続して読書活動が行われるように、読み聞かせを行い図書館バックと絵本を配付する「としょかんとなかよし」を月2回実施する。 ※図書館バックについて、令和5年度より新規登録をした未就学児全員に配布	1歳6か月児を対象 令和5年度実績：対象者の57.5% (1,026人)	SNSを活用した広報活動に努めるとともに内容の充実を図る。	真砂中央図書館
	3	乳幼小	おはなし会や読み聞かせ等本に触れる機会の提供	日々の活動の中におはなし会や絵本・紙芝居の読み聞かせを積極的に取り入れ、子どもの想像力や豊かな心を育てる。	各施設で読み聞かせやおはなし会を実施し、絵本コーナー等も設置している。	本に触れる機会を増やすことでさらなる充実を図る。	幼稚園・保育園・児童館
	4	乳幼小中高	発達段階にあった行事の充実	乳幼児からYA世代まで成長段階にあった行事を充実させ、子どもが本に親しむ機会を提供する。	乳幼児向け読み聞かせの会や、小学生向けおはなし会、YA向け読書会等を実施している。 令和5年実績 乳幼児向：279回 小学生・YA向け：586回	内容の充実を図り、新規参加者が増加する取組みを実施する。	真砂中央図書館
	5	乳幼	子育て支援施設における読書活動の充実	「びよびよひろば」や「子育て広場」等子育てを支援する施設で、絵本コーナーの設置や読み聞かせ等を実施する。	子育て講座等で絵本を活用している。	子どもが読書に親しむ機会を増やすため、読み聞かせ等を引き続き充実させる。	子育て支援課 子ども家庭支援センター担当課
	6	乳幼小中高	ブックリスト（推薦図書）の作成	乳幼児からYA世代まで成長段階に合った多様なブックリストの作成・配布を行い、読書のきっかけを作る。	乳幼児向けに「えほんがすき」、小学生に「読んでみましょう」、中学生に「yomitan」等、成長段階にあったブックリストの作成・配付を行っている。	年代に合わせた推薦図書の紹介等引き続き内容の充実を図り、周知を行う。	真砂中央図書館
	7	中高	YA（ヤングアダルト）を対象としたサービスの充実	図書館ホームページの「10代のためのYAページ」の充実とともに、YAコーナーや専用席を設け、資料収集や展示を工夫して読書環境を整え、YA世代の利用促進を図る。	YA世代（13～18歳）の貸出数 令和5年度実績：82,741冊	SNSを活用したPRや魅力的で使いやすいYAコーナーの展開を通して、YA世代の読書への意欲を高める。同世代のお勧め本の展示やサイン等の工夫を行うため、学生ボランティアとの協働を目指す。	真砂中央図書館
家庭・地域・学校・関係機関における子どもの読書環境の整備と読書活動の充実	8	乳幼小中	図書館と学校や施設との連携・支援体制の充実	区内の子どもと関わりのある各施設と連携して、ブックリストの配付、団体貸出、出張おはなし会、リサイクル図書の提供や情報交換等を行い読書活動を支援する。	各施設が団体貸出や行事等で図書館を利用している。	内容の充実を図ることで施設や学校図書館との連携を強化し、新規連携先が増加するように団体貸出等の周知を図る。	真砂中央図書館 幼稚園・小・中学校 保育園・児童館
	9	乳幼小	幼稚園・保育園・児童館等の図書と設備の充実	発達段階に合わせ、子どもが興味や関心を持った本、子どもに薦めたい本を充実させる。子どもが自由に本を選べるよう親しみやすい環境を整備する。	絵本を中心に所蔵し、季節や行事に合わせた展示コーナーを設けている。	団体貸出等を用いて公共図書館と連携を図り、図書の充実と環境の整備をすすめる。	幼稚園・保育園・児童館
	10	乳幼	乳幼児とその保護者が利用しやすい環境作り	乳幼児向け絵本や育児に関する図書を充実させ、親子で楽しく安心して利用できる環境を整備する。	0歳～6歳児の貸出数 令和5年度実績：259,257冊	子どもたちの興味や関心に応えるため慎重に資料を選定し、必要に応じて複本を揃え、提供する。 気兼ねなく図書館を利用できるよう乳幼児の保護者に周知するとともに、一般の利用者への啓発を行う。 図書館の改修等を実施する際には、児童コーナーの整備の検討を行う。	真砂中央図書館
	11	共通	特別な支援を必要とする子どもへのサービス及び資料の充実	読書バリアフリー法を踏まえ、誰もが読書を楽しむことができるよう図書館サービスの拡充と資料の充実を図る。	デジジー音訳図書や点字図書、布の絵本等を製作している。特別支援学校等へのおはなし会を開催している。 りんごの棚を作り、点字絵本や布の絵本、LLブックを集めた。	読書バリアフリー法に対応し、デジジー、点字図書、大活字本、布の絵本に加え、電子書籍、オーディオブック、LLブック等、多様な資料を収集し提供する。 対面朗読や読み聞かせ、行事などに取り組む。	真砂中央図書館
	12	共通	特別支援学級等配慮が必要な児童・生徒の読書活動の推進	支援が必要な子ども一人ひとりに配慮した読書活動の工夫に努める。	児童生徒の障害特性を考慮した図書を選定し、読み聞かせやパネルシアター等読書の意欲の向上を図る工夫を行っている。	学校図書室と連携を図りながら、児童・生徒の障害の特性等を考慮しつつより充実を図る。電子書籍やLLブック等アクセシブルな資料の収集を進める。	小・中学校
	13	共通	外国語図書の整備、充実	外国語図書を幅広く收集整理し、外国語を母語とする子どもや帰国児童・生徒など、必要とする子どもの読書活動を支援する。	水道端図書館を中心に各館で外国語の絵本を所蔵している。 外国語図書を使った演目を行事で実施した。	英語以外の外国語図書やペーパーバック等絵本以外の外国語図書や起源や文化、生活がわかる本等を収集し、行事等の取組みの充実を図る。	真砂中央図書館
	14	共通	電子書籍の活用	電子書籍の特性を生かし、読書支援及び学習支援を実践する。	・児童電子書籍蔵書数 令和6年3月31日時点：1,201冊 ・児童電子書籍貸出数 令和5年度実績：9,329件	選定基準に則って資料数を増やし、子どもたちの読書意欲を喚起する。電子書籍の活用方法について、周知する。	真砂中央図書館
	15	共通	入院中の子どもへのサービスの充実	小児病棟等病院側のニーズを汲み取り、病院図書館にない図書のサービスを提供する。	大学病院等の小児病棟を中心に図書館サービスを周知するため、入院病床のある医療機関向けに児童図書サービスリーフレットを作成し、配付した。（5施設）	読み聞かせや団体貸出等を通して、入院中の子どもたちに読書の機会を提供する。	真砂中央図書館
	16	小中	学校における読書時間の確保	「朝読書」「読書の時間」等学校活動における読書時間の確保に努める。	全小中学校で「朝読書」または「学習活動内での読書の時間」が実施されている。	「学校図書館ガイドライン」に沿った運営を目指し、本に触れる機会を増やすことにより充実を図る。	小・中学校
	17	小中	読書指導計画の策定	毎年度、読書指導の目標を設定し、年度計画に基づく読書活動の推進を行う。	読書指導計画(読書活動年間指導計画)等策定 小学校12校、中学校5校(令和5年度)	全校で策定されるよう、引き続き推進に努める。	小・中学校
	18	小中	学校における読書活動の推進	読書推進期間の設定や、ブックリストの作成、学校図書館・区立図書館の利用促進等、多様な読書活動を推進する。	各学校で、本の紹介の工夫、推薦図書の選定、読書量の設定、図書館の利用指導等特色のある読書活動を実施している。	教職員、学校図書館支援員の協働により、授業や学校図書室にて児童・生徒が読書を楽しめるよう充実を図る。 読書バリアフリー法に対応するため、アクセシブルな資料の導入や読書補助員等の整備を行う。	教育指導課 小・中学校
	19	小中	調べ学習への支援	学校図書館や区立図書館の活用を促進し、児童・生徒の調べ学習への支援をする。	「文京区図書館を使った調べる学習コンクール」を開催しており、調べ学習のために学校図書館が利用されている。調べ学習用図書を購入し団体貸出をしている。	図書館と学校図書館が連携しながら調べ学習用の図書等を充実させる。 学校図書館支援員が積極的な支援を行う。	真砂中央図書館 小・中学校
	20	小中	学校図書館への人的支援による機能の充実	学校図書館へ支援員を派遣し、学校図書館の読書センター・学習センター・情報センターとしての機能を充実させ、活性化を図る。	・学校図書館での貸出数 令和5年度実績：419,925冊 ・読書環境の整備等のために、学校図書館ボランティアを小学校20校中13校に74名を配置した。	学校図書館ガイドラインに沿った運営を目指し、学校図書館の環境整備と児童・生徒への読書への意欲を高める工夫をし、利用促進を図る。	真砂中央図書館 教育指導課 小・中学校

	21	小中	学校図書館資料の充実	計画的に廃棄や購入を行い、魅力ある本や調べ学習に必要な資料の充実を図り、生徒の学習支援、読書支援を行う。	学校図書館図書標準充足率（令和5年度実績）100% 小学校16校、中学校7校 90～99% 小学校4校、中学校3校	学校図書館図書標準充足率を100%とするとともに、学校図書館の読書センター、学習・情報センターとしての機能を発揮できる蔵書構成を備える。新学習指導要領に対応した資料を揃えるとともに、データベースの活用、公共図書館との連携を図る。感染症対策の観点から十分な複本を揃える。読書バリアフリー法に対応するため、アクセシブルな資料の導入や読書補助具等の整備を行う。	学務課
	22	高	高等学校図書館との連携・支援体制の構築	高等学校図書館の資料の充実を図り、生徒の学習支援、読書支援を行う。	学校との連携によるPOP展示や特設コーナーを設置した。団体貸出を実施した。（2校）区内高等学校に対し、「高等学校図書館と区立図書館の連携に関するアンケート調査」を実施した。	高等学校図書館等へ計画の周知・啓発を図り、図書館との連携について協議する。	真砂中央図書館
子どもの読書活動の意義や大切さの普及・啓発	23	乳幼小中	保護者等への啓発	子どもの好む本や読んでほしい本を紹介し、また、講演会等を行い、読書や読み聞かせの大切さを伝える。	学校や幼稚園、保育園、図書館等、各々がお便りなどの発行、ボランティアによる読み聞かせ、講演会等による啓発を行っている。	読書の大切さなどについて、より多くの保護者に情報が届くように、SNS等を活用した情報発信を行う。また、講座等の実施や日常的な相談業務に取組む。計画を通じて、子どもの読書や図書館利用に対する理解が深まるよう努める。	真砂中央図書館 幼稚園・小・中学校 児童青少年課 保育園・児童館
	24	乳幼小中	子どもへの啓発	読書の楽しさや大切さを子どもたちに伝えるため、子どもと本に関わる人々がそれぞれの取組を充実させるとともに、連携を図る。	関連部署や団体との連携を図り、子どもたちが本にふれる機会を増やし、イベントなどに取組んでいる。	子どもたちの身近な場所に本があり、いつでも気軽に本を読める環境をつくることともに、イベントや展示などを通じて、読書への関心を高める。	真砂中央図書館 児童青少年課
	25	乳幼	プレママ・プレパパへの啓発	これからママ、パパになる方に向け、読み聞かせやわらべ歌などを通して、子どもとともに楽しむ読書の大切さを伝える。	母子手帳交付時の「母と子の保健バッグ」に啓発チラシを同封している。プレママ・プレパパも参加する行事で読書の大切さを伝えている。	SNSの活用など周知を強化し、気軽に参加してもらえるよう工夫し、内容の充実を図る。	真砂中央図書館
	26	乳幼小	文京区の子ども読書活動に関する情報窓口（ホームページ）の充実	図書館ホームページ内の「子ども読書支援ページ（こどもの本に関わる方へ）」の充実を図り、情報発信の拠点とする。	子どものホームページ内に図書館行事や講座案内、図書館員が選んだブックリストや各図書館の特集展示、子ども読書活動推進計画の進捗状況調査結果等を掲載している。	情報窓口のさらなる充実を図り、子どもと本に関わる人たちに広く読書活動の周知を図る。	真砂中央図書館
	27	共通	子どもの居場所としての機能の推進	様々な事情を抱える子どもたちに対し、きめ細かに図書館サービスを周知することで、家庭や学校以外に安心して居られる場所となるよう図書館の利用促進を図り、子どもたちの読書活動を推進する。を持つ。	様々な事情を抱える子どもなど、すべての子どもたちにとって、図書館が家庭や学校以外の居場所として利用できる。	地域に開かれた身近な施設である図書館が、子どもたちの居場所として活用されるよう、様々な事業との連携を図りながら、図書館サービスを周知する。	真砂中央図書館
	28	乳幼小中	子ども向けホームページの充実	読書へのきっかけ作りのために図書館ホームページの「こどものページ」「YAページ」を充実させる。	おすすめ本のリストや子ども向け行事案内を掲載している。	ホームページの機能を活用し、さらなる情報発信を積極的に行う。	真砂中央図書館
	29	他	「文京区子ども読書活動推進計画」実施のための進行管理	計画推進のためのセンター機能を真砂中央図書館に置き、計画の進捗状況を管理する。	「文京区子ども読書活動推進計画」の進捗状況について調査し、ホームページに掲載している。	関係者による連絡会等を通して計画の進行を管理し、本計画の効果的な推進に努める。	真砂中央図書館
地域団体との協働による子どもの読書活動の活性化	30	幼小中	職員・教員の研修の充実	子どもの読書活動推進に関わる研修等を実施する。	令和5年度実績 ・図書館での研修はなし ・情報共有や校内研修等の実施による研鑽（小学校12校・中学校5校） ・外部の研修や講演会等に参加（小学校9校・中学校4校）	教職員と学校図書館支援員が協働して学校図書館運営にあたり、学校図書館の活用を図ることができるよう各種研修等を通して、職員・教員の資質向上を図る。	真砂中央図書館 教育指導課 小・中学校
	31	乳幼小中高	図書館職員の研修の充実	子どもの読書活動推進に関わる研修等に参加する。	司書講習や、都立図書館等で実施している研修に参加している。各自が情報収集や講習会に参加するなど、自己啓発に努めている。	各種研修等を通して図書館職員（学校図書館支援員含む）の資質向上を図る。	真砂中央図書館
	32	乳幼小中高	区内の大学等との連携の推進	区内にある大学、専門学校等と連携、協力し、子どもの読書活動推進を図る事業を実施する。	大学生のボランティアグループによる児童行事を実施している。	児童だけではなくYA世代に向けて、大学生と協働で本を紹介する等、新たな事業展開を図る。	真砂中央図書館
	33	乳幼小中高	区内にある児童図書出版社や書店との連携の推進	区内にある児童図書出版社や書店と連携し講演会等を実施する。	区内の児童図書出版社と共催し、絵本原画展や作家の講演会等を行っている。	出版社や書店等と連携して魅力的な事業を実施し、読書活動の推進に努める。	真砂中央図書館
	34	乳幼小中高	区関係機関との協力・連携体制の推進	区の関連機関と情報交換を行い相互の連携による事業を行うなど、図書館内外での子どもの読書活動推進に努める。	他課主催のイベントに参加するなど区の関係機関と連携している。	乳幼児から高校生に関わる機関との連携をより密にして、読書活動の推進を図る。	真砂中央図書館
	35	乳幼小中高	図書館ボランティア（ライブラリーパートナー）の育成と連携	子どもの読書活動推進のために図書館ボランティアを育成し、活動の場を提供する。	図書館ボランティア研修を実施している。	計画的に研修等を通して人材を育成し、活動の場を提供することで協働して図書館事業に取組む。	真砂中央図書館
	36	小中	学校図書館のボランティアへの支援	学校図書館のボランティア向けの研修等を実施する。	小学校図書館のボランティア向けに研修を実施している。	研修等を通してボランティアの資質向上を図る。	真砂中央図書館
	37	乳幼小中高	地域社会における読書活動を推進する団体等との連携の推進	子どもの読書活動に関わる地域や民間の関係団体の活動を支援し、連携を深め、情報交換や人的交流を促進する。	ボランティア団体やふれあいいきいきサロンの活動のPRや団体向けに読み聞かせの講座等を行い、読み聞かせの活動を支援している。	地域社会で子どもの読書活動推進に関わる人材や団体を支援し、図書館との連携を図る。	真砂中央図書館 社会福祉協議会